

令和3年8月31日
株式会社 但馬銀行

**「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づく
取組方針および取組状況の公表について**

株式会社但馬銀行は、お客さまの資産運用・資産形成に関する業務において、お客さま本位の取組みを実践するため、金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」（以下「金融庁の原則」といいます。）に基づき、平成29年6月に「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」（以下「基本方針」といいます。）を制定しております。

今般、令和3年1月15日に金融庁の原則が改訂されたことを踏まえ、当行の基本方針に基づく取組方針および取組状況を見直しのうえ公表いたしましたのでお知らせいたします。

今後につきましても、基本方針に則り、お客さまに満足いただける商品・サービスの提供に努めてまいります。

以 上

【基本方針に基づく取組方針および取組状況】

基本方針

1. 商品ラインナップの充実
2. お客様の立場に立った情報提供やコンサルティングの実践
3. お客様本位の態勢整備

取組方針

1. お客様の最善の利益の追求
お客様の最善の利益を追求するため、お客様のニーズやライフプランに応じた金融商品・サービスの提供に努め、コンサルティングを実践してまいります。
2. 利益相反の適切な管理
お客様の利益を不当に害すること、例えばお客様の意向に沿わない手数料の高い商品・サービスを優先して提案することのないよう、お客さまとの利益が相反する可能性を正確に把握・管理し、適切に業務を遂行してまいります。
3. 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供
 - ・お客様の負担する手数料等の費用が、どのようなサービスに対する対価であるかを含め、各種手数料の透明性の向上を図るとともに、分かりやすい手数料体系の情報開示に努めてまいります。
 - ・お客さまへの商品提案の際には、図表や指標等分かりやすい資料を用いて、比較可能な複数の商品を提案するなど、商品特性・リスク特性・手数料等投資判断に影響を及ぼす重要な情報について、分かりやすく丁寧な説明に努めてまいります。
 - ・複数の金融商品をパッケージにした商品（外貨建一時払い保険等）の勧誘・提案にあたっては、運用対象として比較可能な他の金融商品を含めて提案し、お客さまにとって最も有効な運用方法を判断いただけるよう、情報提供に努めてまいります。
4. お客様にふさわしい金融商品・サービスの提供
 - ・お客様の金融知識、取引経験、財産の状況、投資目的等をしっかりと伺いしたうえで、お客様の属性やニーズに応じた最適な金融商品・サービスの提供に努めてまいります。
 - ・お客様にふさわしい金融商品・サービスを提供する観点から、想定されるニーズ、商品の分かりやすさ、手数料水準、リスク・リターン等を踏まえて事前検証を十分行ったうえで、定期的に投資信託や生命保険の新商品を導入するとともに、既存商品の見直しを行い、商品ラインナップの整備に取り組んでまいります。
 - ・商品販売後も、安心して取引していただけるよう、お客様のニーズや市場環境の変化に応じて、お客様の運用状況や市場環境等の情報提供を適時・的確に行い、お客様の投資判断のサポートに努めてまいります。特に、ご高齢のお客さまや評価損を抱えているお客さまに対しては、よりきめ細やかな情報提供に努めてまいります。
5. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等
 - ・定期的な研修等を通じて、お客様本位の業務運営を実践するよう行内に浸透させるとともに、高度な専門性と倫理観を持ち、誠実かつ公正に業務遂行が行える人材の育成に努めてまいります。
 - ・お客様の安定的な資産形成に資するため、お客様本位のコンサルティングに必要な知識・スキルを習得できるよう、職員に対する教育・研修体制の充実に努めるとともに、公的資格取得を奨励するなどコンサルティング能力を有する専門性の高い人材の育成に努めてまいります。
 - ・お客様のニーズ・利益を踏まえたお客さま本位の営業活動が行えるよう、特定の運用商品の販売に偏らない評価体系を導入するなど、業績評価体系の整備に努めてまいります。

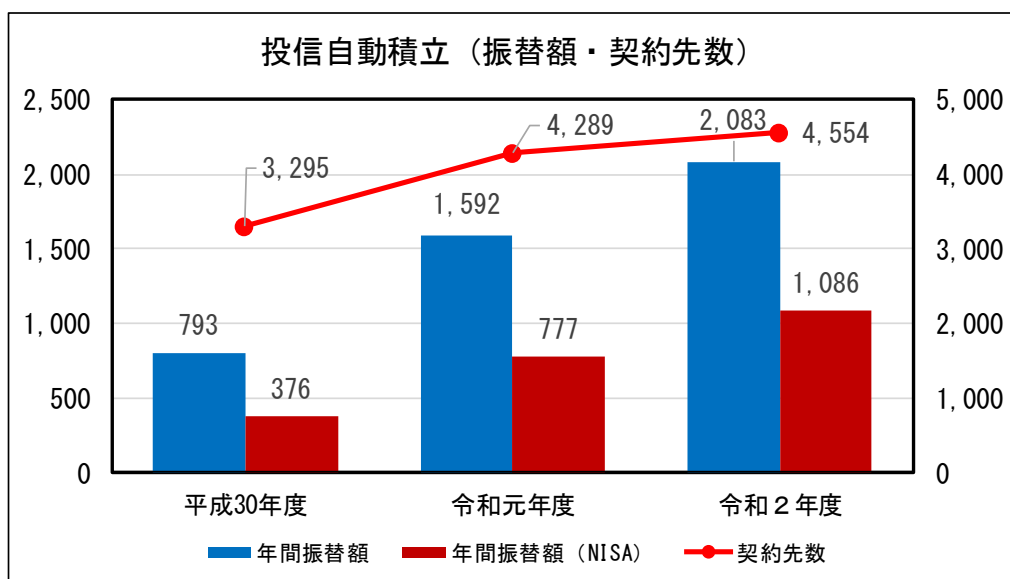
取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

① 投信自動積立（振替額・契約先数）、投信残高・投信保有顧客数

お客様の安定的な資産形成に有効な投信自動積立やつみたてNISA等の活用をご提案しており、振替額、契約件数は着実に増加しています。今後もこの取り組みを継続して推進し、より多くのお客様と取引していただけるよう、努めてまいります。

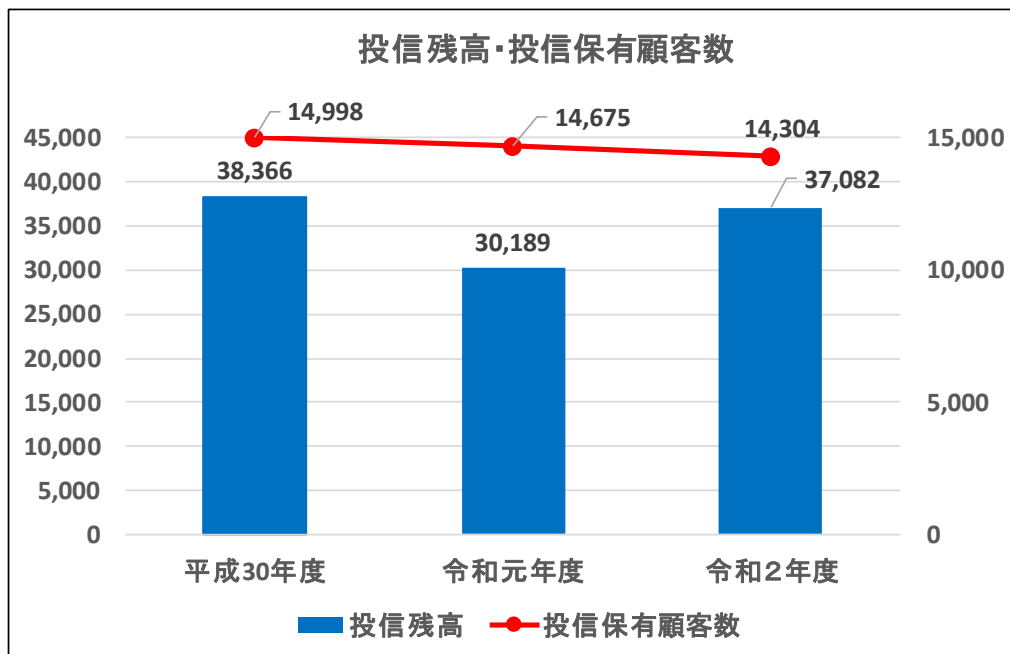
【投信自動積立（振替額・契約先数）】

（単位：百万円、人）



【投信残高・投信保有顧客数】

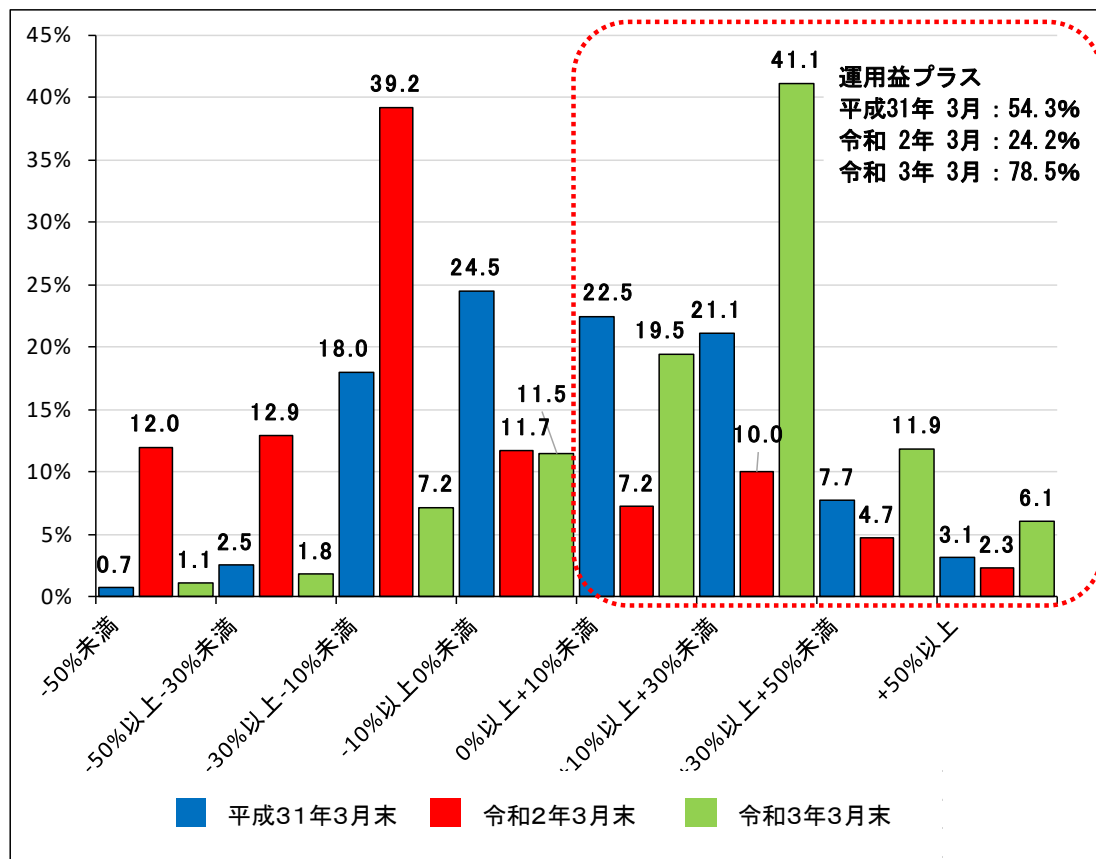
（単位：百万円、人）



【指標（共通KPI）】

共通KPIの内容	
1. 運用損益別顧客比率	<p>投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託にかかる購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別に顧客比率を示した指標です。</p> <p>個々のお客さまが保有している投資信託について、購入時以降どのくらいのリターンが生じているかを見ることができます。</p>
2. 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン	<p>設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄毎および預り残高加重平均のコストとリターンの関係、リスクとリターンの関係を示した指標です。</p> <p>中長期的に、商品のリスク・コストに比べて、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを見ることができます。</p>

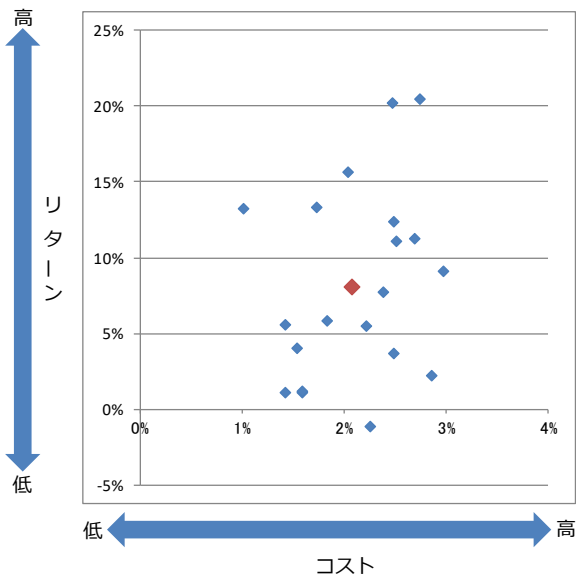
② 運用損益別顧客比率（共通KPI）	
・	令和3年3月末基準で運用損益がプラスとなったお客さまの比率は、78.5%となり、令和2年3月末と比較して54.3%ポイント上昇しました。
・	引き続き、アフターフォロー等を通じて適時適切な情報提供を行い、お客さまの中長期的な資産形成に資するコンサルティングを実践してまいります。



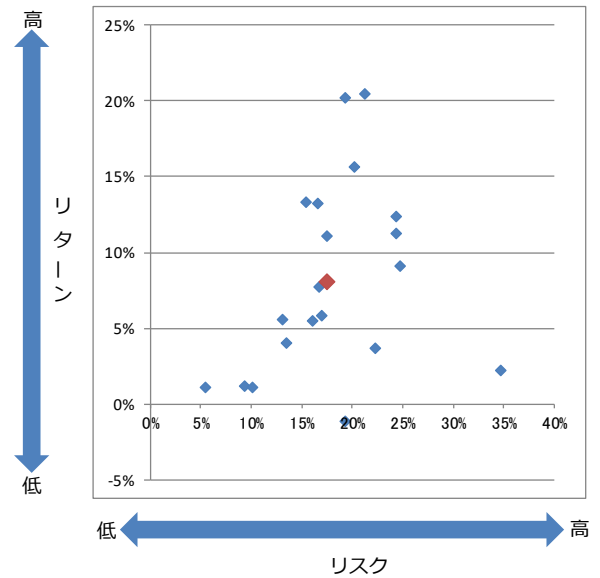
③ 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン
(共通KPI)

令和3年3月末基準の残高上位20銘柄の平均コストは2.08%、平均リスク17.54%に対し、平均リターンは8.05%となりました。

【令和3年3月末基準】

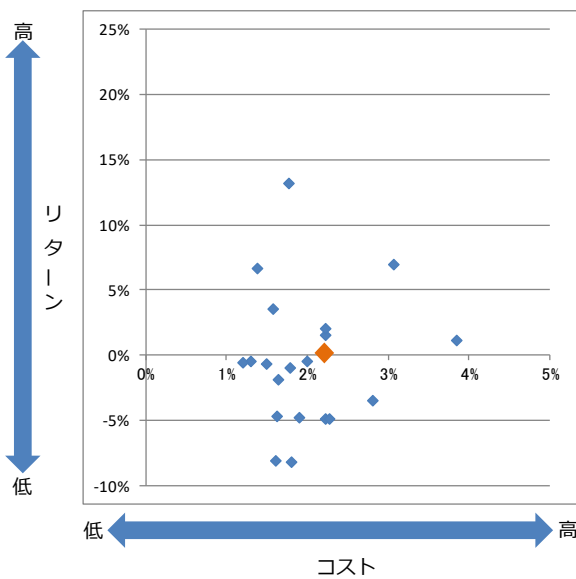


◆ 残高加重平均値	コスト	リターン
	2.08	8.05

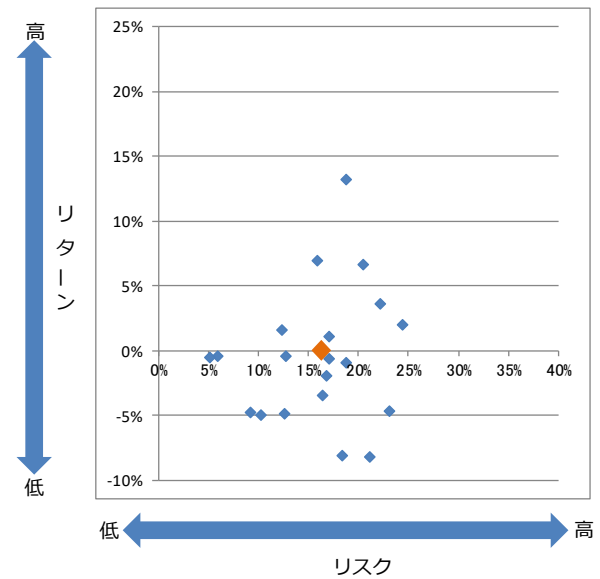


◆ 残高加重平均値	リスク	リターン
	17.54	8.05

【令和2年3月末基準】

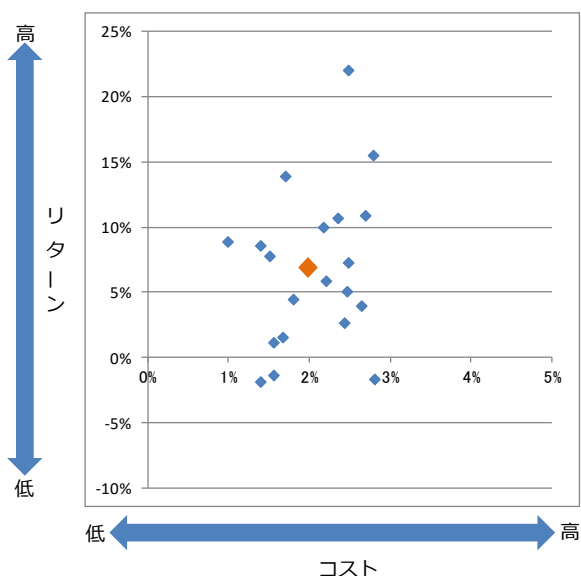


◆ 残高加重平均値	コスト	リターン
	2.19	0.01

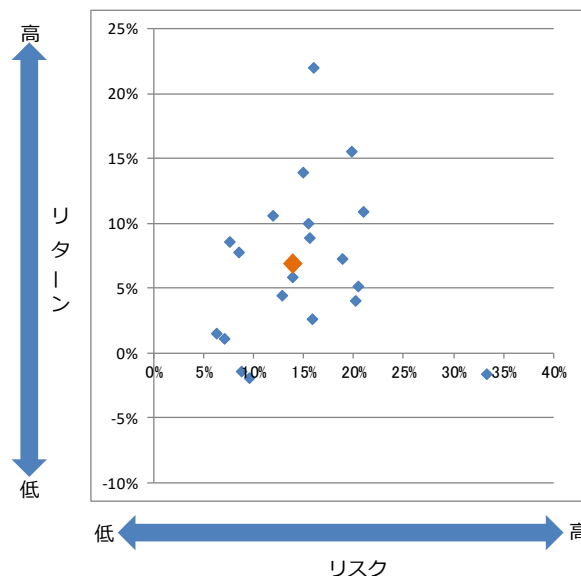


◆ 残高加重平均値	リスク	リターン
	16.29	0.01

【平成31年3月末基準】



◆ 残高加重平均値	コスト	リターン
	2.00	7.05



◆ 残高加重平均値	リスク	リターン
	14.60	7.05

※金融庁が公表した以下の基準に基づき算出しています。
 コスト：当行販売手数料率上限の1/5と信託報酬率の合計値
 リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
 リターン：過去5年間のトータルリターン（年率換算）

(参考) 投資信託預り残高上位20銘柄（共通KPI）

【令和3年3月末基準】

(単位:%)

No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)(ラッキー・カントリー)	2.49	22.25	3.63
2	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	2.22	16.06	5.50
3	たんぎん世界好配当株式ファンド(毎月分配型)(ワールド・ドリーム)	1.84	17.01	5.85
4	明治安田J-REIT戦略ファンド(毎月分配型)(リート王)	1.43	13.11	5.53
5	ひふみプラス	1.74	15.38	13.32
6	明治安田米国中小型成長株式ファンド	2.75	21.22	20.46
7	アムンティ・ロシア東欧株ファンド	2.49	24.40	12.34
8	明治安田外国債券オープン(毎月分配型)(夢実現(毎月分配型))	1.60	5.43	1.11
9	JPMグローバル医療関連株ファンド	2.51	17.46	11.07
10	インテックスファンド225	1.01	16.58	13.25
11	ニッセイリートオープン(毎月分配型)	1.54	13.47	4.03
12	三菱UFJ豪ドル債券インカムオープン(夢実月)	1.60	9.34	1.14
13	女性活躍応援ファンド(椿)	2.04	20.20	15.60
14	ロボット・テクノロジー関連株ファンドーロボテックー	2.48	19.38	20.22
15	短期豪ドル債オープン(毎月分配型)	1.43	10.18	1.07
16	ハリス世界株ファンド(毎月決算型)	2.70	24.38	11.25
17	アジア好利回りリート・ファンド	2.38	16.78	7.69
18	HSBCブラジルオープン	2.86	34.74	2.22
19	HSBCインドオープン	2.97	24.77	9.12
20	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.26	19.38	-1.18

【令和2年3月末基準】

(単位:%)

No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	ひふみプラス	3.06	15.86	6.98
2	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)(ラッキー・カントリー)	1.81	21.19	-8.20
3	たんぎん世界好配当株式ファンド(毎月分配型)(ワールド・ドリーム)	2.80	16.48	-3.46
4	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	1.64	16.77	-1.93
5	明治安田J-REIT戦略ファンド(毎月分配型)(リート王)	2.22	12.38	1.57
6	三菱UFJ豪ドル債券インカムオープン(夢実月)	1.90	9.26	-4.77
7	アムンティ・ロシア東欧株ファンド	2.23	24.37	2.01
8	インデックスファンド225	3.85	17.09	1.13
9	JPMグローバル医療関連株式ファンド	1.78	18.82	-0.98
10	ニッセイリートオープン(毎月分配型)	2.00	12.81	-0.45
11	新成長株ファンド(グローイング・カバース)	1.76	18.75	13.20
12	明治安田外国債券オープン(毎月分配型)(夢実現(毎月分配型))	1.30	5.88	-0.46
13	明治安田米国中小型成長株式ファンド	1.58	22.25	3.57
14	女性活躍応援ファンド(権)	1.38	20.49	6.68
15	ハリス世界株ファンド(毎月決算型)	1.62	23.13	-4.70
16	短期豪ドル債オープン(毎月分配型)	2.22	10.27	-4.96
17	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.20	5.19	-0.56
18	アジア好利回りリート・ファンド	1.50	17.10	-0.67
19	高金利国際機関債ファンド(毎月決算型)	2.27	12.65	-4.91
20	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	1.61	18.40	-8.10

【平成31年3月末基準】

(単位:%)

No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	ひふみプラス	1.71	15.03	13.87
2	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)(ラッキー・カントリー)	2.44	15.92	2.63
3	たんぎん世界好配当株式ファンド(毎月分配型)(ワールド・ドリーム)	1.80	12.86	4.41
4	JPMグローバル医療関連株式ファンド	2.48	18.86	7.20
5	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	2.18	15.56	9.96
6	三菱UFJ豪ドル債券インカムオープン(夢実月)	1.57	8.87	-1.41
7	ニッセイリートオープン(毎月分配型)	1.51	8.53	7.79
8	明治安田外国債券オープン(毎月分配型)(夢実現(毎月分配型))	1.57	7.16	1.09
9	インデックスファンド225	0.99	15.70	8.82
10	明治安田J-REIT戦略ファンド(毎月分配型)(リート王)	1.40	7.69	8.60
11	明治安田米国中小型成長株式ファンド	2.70	21.02	10.85
12	新成長株ファンド(グローイング・カバース)	2.48	16.08	22.04
13	アジア好利回りリート・ファンド	2.35	12.00	10.62
14	ハリス世界株ファンド(毎月決算型)	2.65	20.28	3.97
15	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.21	13.99	5.87
16	短期豪ドル債オープン(毎月分配型)	1.40	9.61	-1.94
17	アムンティ・ロシア東欧株ファンド	2.46	20.52	5.09
18	HSBCブラジルオープン	2.81	33.34	-1.67
19	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.67	6.34	1.49
20	高成長インド・中型株式ファンド	2.79	19.83	15.51

取組方針 2. 利益相反の適切な管理

取組方針 3. 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供

取組方針 4. お客さまにふさわしい金融商品・サービスの提供

④ 投資信託、生命保険ラインナップ、投資信託、一時払い保険販売上位 10 商品
<ul style="list-style-type: none"> ・お客さまの多様なニーズにお応えするため、定期的に投資信託や生命保険の新商品を導入するとともに、既存商品の見直しを行い商品ラインナップの整備に取り組んでおります。 ・金融商品のラインナップについては、運用会社の系列に関わらず幅広い商品の中から、想定されるニーズ、商品の分かりやすさ、手数料水準、リスク・リターン等を踏まえて商品選定しています。 ・お客さまのニーズに応じた商品をご提案し、様々な投資対象の商品を販売しております。 ・お客さまへの商品提案の際には、図表や指標等分かりやすい資料を用いて、比較可能な複数の商品を提案するなど、商品特性・リスク特性・手数料等について、お客さまに十分ご理解いただけるよう、分かりやすい説明に努めております。今後につきましては、より一層、お客さまへの重要な情報の分かりやすい提供に努めるため、2022年度中を目的に、多様な商品の比較を容易にすること等を目的とした「重要情報シート」の導入に向けて、投信会社・保険会社・証券会社と連携して検討を進めてまいります。

【投資信託ラインナップ（令和3年3月末現在）】

投資対象	取扱商品数	取扱商品比率
国内債券	3	2.2%
国内株式	23	16.9%
海外債券	25	18.3%
先進国	14	10.2%
ハイイールド	2	1.4%
新興国	9	6.6%
海外株式	41	30.1%
先進国	27	19.8%
新興国	14	10.2%
国内REIT	5	3.6%
海外REIT	11	8.0%
バランス型	24	17.6%
その他	4	2.9%
合計	136	100.0%

【生命保険ラインナップ（令和3年3月末現在）】

保険種類	取扱商品数	取扱商品比率	
一時払い	円建て	2	13.3%
	終身保険	2	13.3%
	外貨建て	13	86.6%
	定額個人年金	4	26.6%
	変額個人年金	1	6.6%
	養老保険	0	0.0%
	終身保険	8	53.3%
合計	15	100.0%	

保険種類	取扱商品数	取扱商品比率	
平準払い	定額個人年金	0	0.0%
	終身保険	3	15.0%
	収入保障保険	2	10.0%
	変額保険	2	10.0%
	医療保険	8	40.0%
	介護年金保険	1	5.0%
	就業不能保険	2	10.0%
	がん保険	2	10.0%
合計	20	100.0%	

【投資信託販売上位10商品（令和2年度）】

順位	投信会社名	商品名	投資対象
1	レオス・キャピタルワークス	ひふみワールド ⁺	海外株式
2	三井住友トラスト・アセットマネジメント	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド [*]	海外株式
3	大和アセットマネジメント	ダイワ・US-REIT・オープン（毎月決算型）Bコース（為替ヘッジなし）	海外REIT
4	明治安田アセットマネジメント	明治安田米国中小型成長株式ファンド [*]	海外株式
5	大和アセットマネジメント	FANG+インテックス・オープン	海外株式
6	明治安田アセットマネジメント	明治安田J-REIT戦略ファンド [*] （毎月分配型）	国内REIT
7	ニッセイアセットマネジメント	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド [*] （毎月決算型）	海外株式
8	三井住友DSアセットマネジメント	米国分散投資戦略ファンド [*] （5倍コース）	バランス
9	アセットマネジメントOne	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド [*] （為替ヘッジなし）	海外株式
10	ニッセイアセットマネジメント	ニッセイSDGsグローバルセレクトファンド [*] （資産成長型・為替ヘッジなし）	海外株式

【一時払い保険販売上位10商品（令和2年度）】

順位	保険会社名	商品名	通貨	種類
1	太陽生命保険	My介護Bestプラス	円貨	介護年金
2	メットライフ生命保険	サニガードEX	外貨	定額終身
3	第一フロンティア生命保険	プレミアメント2	外貨	定額終身
4	三井住友海上プライマリー生命保険	しあわせ、ずっと2	外貨	定額終身
5	メットライフ生命保険	ビーズユープラス	外貨	定額終身
6	日本生命保険	ロングトリームGOLD3	外貨	定額終身
7	三井住友海上プライマリー生命保険	あしたの、よろこび2	外貨	定額年金
8	三井住友海上プライマリー生命保険	やさしさ、つなぐ	外貨	定額終身
9	メットライフ生命保険	USTドル建終身保険 ドルSmart	外貨	定額終身
10	メットライフ生命保険	ウェルステザイン	外貨	定額終身

⑤ アフターフォローの実施状況

商品販売後も、安心して取引していただけるよう、お客さまのご年齢や運用状況、市場環境の変化に応じて、適時・的確に情報提供を行い、お客さまの投資判断のサポートに努めております。

特に、ご高齢のお客さまや評価損を抱えているお客さまに対しては、よりきめ細やかな情報提供を行うよう努めており、リスク性商品（投資信託、生命保険、外国債券）を保有していただいているお客さまに対し、一定の条件のもとに実施しているアフターフォローの実施率は90%以上となっています。

【アフターフォローの実施状況】

（単位：％）

	対象先	実施率
平成30年度	・投資信託、生命保険の販売先（75歳以上の高齢者） ・投資信託、生命保険の販売先（損失発生先） ・投資信託の新規口座開設先	99.58
令和元年度	・投資信託、生命保険、外国債券の販売先（75歳以上の高齢者） ・投資信託、外国債券の販売先（損失発生先）	99.38
令和2年度	・投資信託、生命保険、外国債券の販売先（75歳以上の高齢者） ・投資信託、外国債券の販売先（損失発生先）	99.07

※リスク性商品（投資信託、生命保険、外国債券）を保有していただいているお客さまに対し、高齢者や損失発生先など、一定の条件のもと半年に1回の周期でアフターフォローを実施しています。

※相場急変時には定期的なアフターフォローに加え臨時でアフターフォローを実施しています。

取組方針5. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

⑥ 教育・研修の実施状況

- ・お客さまの資産形成やライフプランに応じたお客さまにふさわしい金融商品・サービスを提案できるよう、商品知識の習得や、コンサルティング提案スキルの向上を目的とした研修を定期的実施し、職員に対する教育・研修体制の充実に努めております。
- ・お客さまの安定的な資産形成に資するため、FPなどの公的資格取得を奨励するなど、コンサルティング能力を有する専門性の高い人材の育成に努めております。
- ・お客さまのニーズ・利益を踏まえたお客さま本位の営業活動が行えるよう、特定の運用商品の販売に偏らない評価体系を導入するとともに、運用損益別顧客比率を業績評価体系に組み入れるなど、業績評価体系の整備に努めております。

【教育・研修の実施状況（令和2年度）】

（単位：回、人）

実施内容	実施回数	受講者数
商品知識の習得を目的とした研修	33	1,742
コンサルティング提案スキルの向上を目的とした研修	32	293

以上